

社会資本整備総合交付金 事後評価

青森県 県土整備部 港湾空港課

八戸港の安全・安心な港湾環境づくり（復興基本方針関連（復興））

事業主体 青森県
計画期間 H30～R2

社会資本整備総合計画の概要

計画の目標

八戸港の震災からの復興のため、緊急時物流機能を強化すべく橋梁の耐震化を推進し、港湾利用者が安全で安心して利用できる港湾環境の整備を行う。

成果目標

- ① 八戸港における主要な臨港道路に架橋している橋梁の耐震化率を向上させる。

【H30当初】 75% (3橋) → 【R2末】 100% (4橋)

事後評価の結果

事業実績

当該整備計画における成果目標については、以下のとおり達成している。

【R2末実績】 100% (4橋)

目標達成
(達成率100%)

- ① 八戸港における主要な臨港道路に架橋している橋梁の耐震化率【75%→100%】

八戸港における主要な臨港道路に架橋している耐震化を要する橋梁の耐震化の状況

主要な臨港道路	橋梁	耐震化の状況
白銀北沼線	八太郎大橋	耐震化済
白銀北沼線	八戸大橋	耐震化済
八太郎3号ふ頭線	蓮沼陸橋	耐震化済
河原木1号ふ頭1号線	八戸シーガルブリッジ	未耐震化

平成30年度末

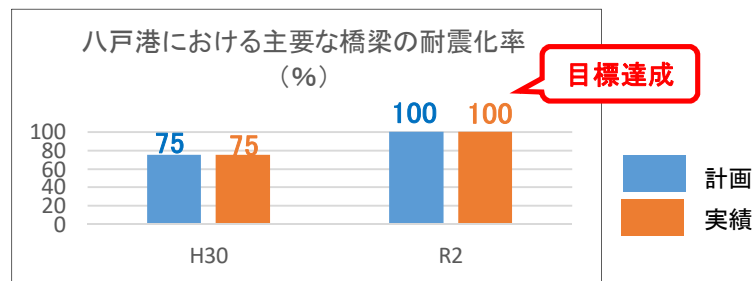
八戸港における主要な臨港道路に架橋している耐震化を要する橋梁の耐震化の状況

主要な臨港道路	橋梁	耐震化の状況
白銀北沼線	八太郎大橋	耐震化済
白銀北沼線	八戸大橋	耐震化済
八太郎3号ふ頭線	蓮沼陸橋	耐震化済
河原木1号ふ頭1号線	八戸シーガルブリッジ	耐震化済

令和2年度末

【成果目標の達成状況】

橋梁の耐震化率 = 耐震化が完了した橋梁数 ÷ 耐震化が必要な橋梁数 : 4 橋



八戸港の安全・安心な港湾環境づくり（復興基本方針関連（復興））

事業主体 青森県
計画期間 H30～R2

【対象要素事業】

八戸シーガルブリッジの改良

耐震改良（制振ダンパー工及び水平力分担構造設置）

改良前
令和元年度



改良後
令和元年度

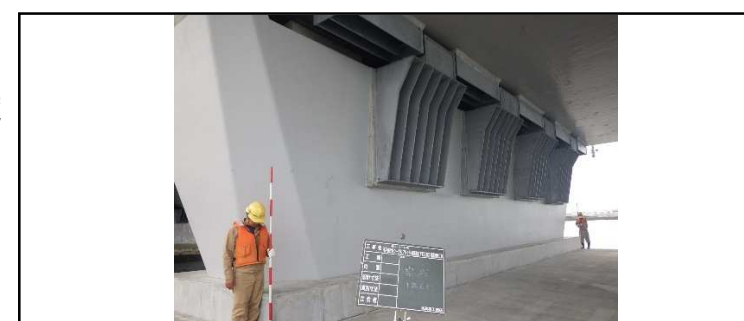


耐震改良（橋脚への炭素繊維シート補強、水平力分担構造及び落橋防止構造設置）

改良前
令和元年度



改良後
令和2年度



耐震改良（橋脚のRC巻立て）

改良前
令和元年度



改良後
令和2年度



(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (復興)

令和2年3月26日

計画の名称	八戸港の安全・安心な港湾環境づくり (復興基本方針関連 (復興))										重点配分対象の該当						
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度 (3年間)			交付対象	青森県												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 八戸港の震災からの復興のため、緊急時物流機能を強化すべく橋梁の耐震化を推進し、港湾利用者が安全で安心して利用できる港湾環境の整備を行う。 																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 八戸港における主要な臨港道路に架橋している橋梁の耐震化率を75%から100%に向上させる。 																
定量的指標の定義及び算定式	$\text{耐震化率} = \frac{\text{耐震化が完了した橋梁数}}{\text{耐震化する橋梁数}}$										備考						
定量的指標の現況値及び目標値	当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R2末)														
橋梁の耐震化率	75%	-	100%														
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,714.0 百万円	A	1,714.0 百万円	B	0.0 百万円	C	0.0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0 %					
交付対象事業																	
A1 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H30	H31	R2				
4-A1-10	港湾	内地	青森県	直接	-	重要	改良	八戸シーガルブリッジの改良	主塔、主桁、上下部工改良 N=1式ほか	八戸港・河原木地区				1,714.0	-	策定済	
											合計	1,714.0					
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
									H30	H31	R2						
											合計	0					
C 効果促進事業 (該当無し)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	備考				
									H30	H31	R2						
											合計	0.0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当無し)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	備考				
									H30	H31	H32						
											合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31	R2		
配分額 (a)	120.0	360.0			
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0			
交付額 (c=a+b)	120.0	360.0			
前年度からの繰越額 (d)	0.0	111.1			
支払済額 (e)	8.9	228.9			
翌年度繰越額 (f)	111.1	229.1			
うち未契約繰越額 (g)	106.1	48.4			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	13.1			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	88.4%	13.1%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	当該橋梁と接続している取付道路の改良に係る計画線形等を見直す必要が生じ、道路線形計画等の決定に不測の日数を要したため	狭隘な施工箇所のため耐震補強工事が実施困難であることが判明し、所要の強度確保のための再設計に不測の日数を要したため年度内完成が困難となったため			

(参考図面)

計画の名称	八戸港の安全・安心な港湾環境づくり（復興基本方針関連（復興））	交付対象	青森県
計画の期間	平成30年度 ～ 令和2年度（3年間）		

